

浜岡原子力発電所1,2号炉 クリアランス認可申請 指摘事項に対する回答整理表

ハッチング：回答済

No.	審査会合 ヒアリング	実施日	該当ページ	コメント内容	回答内容	回答状況
1	審査会合	2023年10月5日	本文 P3 (対象物)	今回の対象物と前回の対象物の認可申請書での切り分けについて、申請書では前回の対象物は今回の対象物に含まないとしているが、現状の申請書の記載では今回の対象物に前回の対象物が含まれていないことが不明瞭であるため、明確となる記載をすること。	2023年10月26日に回答し、2023年11月14日に再回答予定	今回回答
2	審査会合	2023年10月5日	添付書類 P4-1 (評価単位)	評価単位の重量上限について、10トン重量上限とし、1.6トン重量の目安としているが、1.6トンを超えるものを収納した場合の扱いが不明瞭なので、明確となるような記載を追記すること。	2023年10月18日に回答し、2023年11月14日に再回答予定	今回回答
3	審査会合	2023年10月5日	本文 P10 (核種選択)	放射化汚染の考慮を不要とした理由について、詳しく説明すること。	2023年10月26日に回答。 回答資料「放射化汚染の考慮を不要とした理由及び対象物の汚染状況の包括的な記載について」により説明	回答済
4	審査会合	2023年10月5日	本文 P10 (核種選択)	二次的な汚染の評価に用いる放射性物質について、H-3を除いた32核種から選択しているが、審査基準では33核種から選択することとなっているため、33核種から選択すること。	2023年10月26日に回答し、2023年11月14日に再回答予定	今回回答
5	審査会合	2023年10月5日	本文 P4 (汚染の状況)	今回と前回の対象物の汚染状況の違い及び過去のデータを引用できる根拠について、記載を拡充し詳細に説明すること。	2023年11月1日に回答し、コメント反映中	コメント 反映中
6	審査会合	2023年10月5日	本文 P4~9 (汚染の状況)	申請書における汚染の状況とその程度を示す代表サンプルの選定根拠について、全てを資料にまとめて説明すること。	2023年10月26日に回答。 回答資料「汚染状況の詳細及びエビデンスの妥当性について」により説明	回答済
7	審査会合	2023年10月5日	申請書全般	前回の認可申請書を引用している箇所について、審査基準の適合性が明確となるように記載を見直すこと。	保留中（2023年11月14日以降回答予定）	保留
8	審査会合	2023年10月5日	本文 P18 (検出限界値)	Co-60の検出限界値の妥当性について、評価対象核種を全て考慮して設定されるべきであり、申請書の期間末（2037年4月1日時点）の条件であってもΣD/Cが1以下を満足することの説明を追記すること。	2023年11月1日に回答し、2023年11月14日に再回答予定	今回回答
9	審査会合	2023年10月5日	本文 P16,17 (ピークBG)	評価に用いるピークBGの設定の妥当性について、夜間にピークBGを測定すると理解しているが、実際の測定では非安全側の評価とならないこと、昼間にピークBGが変動しないとしている考えについて説明を追記すること。	2023年11月1日に回答し、コメント反映中	コメント 反映中
10	審査会合	2023年10月5日	本文 P16,17 (表面汚染密度)	表面汚染密度測定について、審査基準では不確かさを含めて評価することとなっているため、不確かさを考慮しても0.8Bq/cm ² を下回る測定ができることの説明を追記すること。	2023年11月14日回答予定	今回回答
11	審査会合	2023年10月5日	添付書類 P6-10,11 (不確かさ)	不確かさについて、考え方を詳しく説明し、審査基準に示されている考え方の基本と異なる点については妥当性を説明すること。	2023年11月14日回答予定	今回回答
12	審査会合	2023年10月5日	本文 P10 (核種選択)	核種選択について、分析値の不確かさを考慮しても第4位の核種が核種選択の結果に影響しないことについて説明すること。	2023年10月26日に回答し、コメント反映中	コメント 反映中
13	ヒアリング	2023年9月21日	本文 P9 (汚染の状況)	放射化汚染の状況と二次的な汚染の状況を踏まえて、対象物の汚染の状況を包括的に記載すること。	2023年10月26日に回答。 回答資料「放射化汚染の考慮を不要とした理由及び対象物の汚染状況の包括的な記載について」により説明	回答済
14	ヒアリング	2023年9月21日	添付書類 P6-9 (検出限界値)	検出限界値を算出する式において、放射能換算係数が一律に決まらないことについて、改めて説明すること。	2023年10月26日に回答。 回答資料「検出限界値のパラメータにおける補足事項について」により説明	回答済
15	ヒアリング	2023年9月21日	添付書類 P6-9 (検出限界値)	検出限界値を算出する式について、 $r_2 = 0$ としている根拠を改めて説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答

浜岡原子力発電所1,2号炉 クリアランス認可申請 指摘事項に対する回答整理表

ハッチング：回答済

No.	審査会合 ヒアリング	実施日	該当ページ	コメント内容	回答内容	回答状況
16	ヒアリング	2023年9月21日	本文 P16,17 (表面汚染密度)	表面汚染密度の測定について、基本事項（測定面の凹凸、検出限界値の設定）について改めて説明すること。また、表面汚染密度測定の記載について、JISの4504は今枝番がついているため、確認して必要があれば修正すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
17	ヒアリング	2023年9月21日	添付図表 P6-31 (放射能換算係数)	放射能換算係数の妥当性確認におけるkの値(k=3)について、1.645σを足さないそのままの評価値から、3σを引いた場合に妥当性が確認できるか確認すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
18	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P3 (対象物)	対象物の種類について「サポート、ケーブルトレイ、電線管、現場盤、ラック等」と記載されているが「等」には何が含まれているか説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
19	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P3 (対象物)	対象物の除染方法について「物理的な除染方法（プラスト除染等）」と記載されているが、「等」には何が含まれているか説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
20	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P4 (汚染の状況)	FP核種の説明について「燃料集合体及び炉内の構造材の微量元素として存在するウランが（後略）」と記載されているが、構造材「等」、ウラン「等」と記載してはどうか。検討すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
21	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P5 (汚染の状況)	原子炉水中の ¹³¹ Iの分析について、審査基準に示す33核種ではない ¹³¹ Iの分析結果を用いた考え方を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
22	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P6 (汚染の状況)	直接線による放射化汚染の説明において「放射能濃度確認対象物は全て原子炉格納容器の外側にあるため」と記載されているが、どのような範囲を示しているのか図で説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
23	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P16 (放射能換算係数)	「放射能換算係数の設定には、表面汚染密度の値を用いる」について、記載を見直すこと。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
24	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P17 (放射能換算係数)	放射能換算係数の妥当性確認について、妥当性確認に用いる線源はクリアランスレベル相当であるかについて説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
25	ヒアリング	2023年10月18日	添付書類 P6-8 (放射能換算係数)	「測定条件を見直して再測定を行う」と記載されているが、具体的にどのようなことを見直すのか説明すること。	2023年10月18日に回答 BG、測定時間、検出限界値が適切に設定されているか確認し、申請書の測定条件を満足しているかを確認する旨を説明した。	回答済
26	ヒアリング	2023年10月18日	本文図表-1 (対象物)	対象物の発生場所について、「屋外」とは具体的にどこを指しているか。また、どのような対象物かについて説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
27	ヒアリング	2023年10月18日	本文図表-6 (対象物)	表中の種類の項目について、本文の対象物の種類と同じ記載とすること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
28	ヒアリング	2023年10月18日	本文図表-18 (核種選択)		2023年11月14日以降回答予定	未回答
29	ヒアリング	2023年10月18日	本文図表-19 (汚染の状況)	二次的な汚染の程度の調査について、使用した測定装置を追記すること。また、測定の結果が検出限界未満であった場合について、放射能濃度を未満を示す表現で表記していることの説明を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
30	ヒアリング	2023年10月18日	添付図表 P2-4 (汚染の状況)	放射化汚染の代表サンプルについて、前回の申請書のデータと同じものはその旨を記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
31	ヒアリング	2023年10月18日	添付図表 P2-7 (汚染の状況)	フォールアウトの調査について、 ¹³⁷ Csの評価結果を確認し、検出限界値が十分に低いという説明を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
32	ヒアリング	2023年10月18日	添付図表 P2-7 (汚染の状況)	前回の申請書の確認申請の実績を記載した意図について、説明すること。	2023年10月18日に回答 再検討した結果、当該の記載を削除することとした。	回答済

浜岡原子力発電所1,2号炉 クリアランス認可申請 指摘事項に対する回答整理表

ハッチング：回答済

No.	審査会合 ヒアリング	実施日	該当ページ	コメント内容	回答内容	回答状況
33	ヒアリング	2023年10月18日	申請書全般	前回の申請書の評価結果を用いることの妥当性について説明すること。	2023年11月14日以降回答予定(No.7と合わせて回答予定)	未回答
34	ヒアリング	2023年10月18日	本文 P16,17 (表面汚染密度)	表面汚染密度の測定について、現場の運用及び測定の基本事項（測定面の凹凸、検出限界値の設定）について改めて説明すること。	2023年11月14日以降回答予定(No.16と合わせて回答予定)	未回答
35	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P3-1 (核種選択)	「放射化汚染と比較して有意な値を検出している」について、二次的な汚染と比較して有意な値であるということか。	2023年10月26日に回答。 放射化汚染と比較して二次的な汚染が有意であることを説明した。	回答済
36	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P3-3 (核種選択)	FP核種の親として天然ウランを用いているが、構造材についてはそのとおりであるが、燃料集合体でも天然ウランとしてよいか。また、I-131の検出は構造材からの検出という理解でよいか。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
37	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P3-3 (核種選択)	放射化計算の材質でステンレス鋼が75%の接液面積を占めるとあるが、これは前回の申請における調査結果か。そうであれば引用元を記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
38	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P3-3 (核種選択)	揮発性核種の移行係数を求めているが、移行割合の数値を記載すること。またC-14で代表できることを説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
39	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P3-4 (核種選択)	採集したサンプルの代表性の説明について、今回のサンプルの代表性について記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
40	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P3-5 (核種選択)	核種組成比の不確かさについて、個別に積み上げていることの説明を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
41	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P3-1 (核種選択)	表中の「0」と「-」の説明を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
42	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P3-6 (核種選択)	分析値に統計的な分布を考慮しているが、これらの結果について追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
43	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P3-7,3-8 (核種選択)	減衰補正の記載について、前回のデータと思われるが、引用元を記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
44	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P4-1 (表面汚染密度)	表面汚染密度の設定として0.8未満としているが、その根拠を記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
45	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-1 (放射能換算係数)	Ge半導体検出器が故障した場合の記載について、幾何学的効率が検出器ごとにことなることを記載すること。また、幾何学的効率の設定方法を記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
46	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-3 (ピークBG)	「測定期間」について、他の箇所に「測定前にPBGを測定する」とあるが、測定の前後に毎回測定する場合、毎回新しい測定期間となるということか。詳しく説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
47	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-3 (ピークBG)	PBGの評価について、PBGがない測定場所の測定では、評価でBGを引かないため安全側になることを記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
48	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-3 (ピークBG)	PBGがあると判断した場合、どのような考え方で減算しているか、また、安全側の評価となっているかについて説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
49	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-3 (ピークBG)	PBGの測定に用いる模擬金属はどのようなものか記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
50	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-4 (放射能換算係数)	比表面積の設定方法について、その妥当性について説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
51	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-5 (放射能換算係数)	高密度の高い部分とはどのようなものか、またその扱いが決まっているのであれば記載すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答

浜岡原子力発電所1,2号炉 クリアランス認可申請 指摘事項に対する回答整理表

ハッチング：回答済

No.	審査会合 ヒアリング	実施日	該当ページ	コメント内容	回答内容	回答状況
52	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-5 (放射能換算係数)		2023年11月14日以降回答予定	未回答
53	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-8 (放射能換算係数)	放射能換算係数の妥当性確認における模擬線源の扱いについて、評価に用いる計数率の妥当性を説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
54	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-8 (測定評価)	「測定時間が短く、検出限界計数率が大きい場合」は現実的にあり得るのか。有り得ない場合は、記載を削除すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
55	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-9 (放射能換算係数)	式の6-4についてR2を0として良い妥当性を説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
56	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-10 (放射能換算係数)	検出器の効率を2σ下げることで測定の定量性が失われているが、これが妥当であることを説明していること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
57	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P6-10 (表面汚染密度)	GMサーベイメータの校正線源の情報を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
58	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-1 (放射能換算係数)	Ge半導体検出器の角度依存性を考慮しているが、どのように考慮したのか、またその妥当性を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
59	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-6 (放射能換算係数)	評価モデルの説明について、一マスあたりの放射能の程度についてわかりやすく説明を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
60	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-6 (放射能換算係数)	評価モデルの設定において、評価モデルを適用できる根拠について説明を追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
61	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-28 (ピークBG)	PBGの導出における「誤差」という表現は「標準偏差」を示しているということか。	2023年10月26日に回答。 PBGの導出における「誤差」という表現は「標準偏差」を示していることを説明した。	回答済
62	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-33 (表面汚染密度)	JISの番号が変わっているが、準拠するのか。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
63	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-34 (表面汚染密度)	据え置き型の測定器について、BG基準値の表記が計数率でないがどういうことか、また、実際の測定方法及び検出限界はどの程度かについて説明すること	2023年11月14日以降回答予定	未回答
64	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-34 (表面汚染密度)	表面汚染密度の測定で凹凸があるものの扱いはどうしているか	2023年11月14日以降回答予定	未回答
65	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-34 (表面汚染密度)	「測定器の仕様の範囲内とする」とあるが、具体的にはどういうことか。説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
66	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-34 (表面汚染密度)	間接測定法はどのようなものに用いるのか、また、汚染の最大箇所判断方法について説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
67	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-34 (表面汚染密度)	拭き取り効率について、JISを確認し、必要に応じて追記すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
68	ヒアリング	2023年10月26日	添付図表 P6-35 (不確かさ)	不確かさの積み上げについて、妥当性を説明すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
69	ヒアリング	2023年10月26日	添付書類 P3-1 (核種選択)	放射能濃度確認対象物は複数の系統を包含しているが「合理的な範囲で」核種を選択していることの説明を補足すること。	2023年11月14日以降回答予定	未回答

浜岡原子力発電所1,2号炉 クリアランス認可申請 指摘事項に対する回答整理表

ハッチング：回答済

No.	審査会合 ヒアリング	実施日	該当ページ	コメント内容	回答内容	回答状況
70	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P3 (対象物)	表-5、11について対象物の明確化が必要。特に炉水と直接接触する部位の有無を確認したい。 この場合、申請書で想定されている炉水中のCo-60等が主蒸気にキャリーオーバーして復水中に移行して汚染するメカニズムとは異なりホットスポット等の可能性あり。対象機器リスト及びP&IDで対象範囲を識別。 参考 ・S/Cには定期点検終了前にDPプール水(炉水) 抜きのプロローが大量に流入し、また運転中のRCIC系のサーベイランス時の主蒸気の戻りがあり、一方、浄化系はないので運転期間に応じて核種の減衰はあるものの、CP(Co-60、Mn-54等)による汚染のレベルが上昇し、放射化クラッドのホットスポットがある可能性がある。S/C関連設備は重量が1062tonと大量のため、この点は留意点となる。(→逆に同関連設備や炉水と接触がなければ、前回申請と概ね同様か。) ・非常用炉心冷却系のうち、低圧系(LPCS系、RHR系)のサーベイランス時の水源はS/C水のため重量291tonについて同様に留意点になる。 ・RHR系、FPC系、CUW系、炉水と直接接触する部位があるので、同様に留意点。 ・廃棄物減容処理装置建屋では、焼却処理関係(例えばガス処理フィルタ)があれば、放射性物質の濃縮が想定され、また液体廃棄物処理系でも、床ドレン系では濃縮処理を行うので、放射能レベルが高くなり、今回の対象物のサポートケーブルトレイとは直接汚染するものでないか。対象物の最後の「等」の確認が必要。 ・再循環系・制御系の17tonも同様に炉水とは接触しない部位のことが確認が必要。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
71	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P5、8等 (比表面積)	最大の比表面積2.7cm ² /gを算出した根拠の説明。 対象物をすべて特定していることが前提なので、対象物の測定結果(表面積、重量)リストを提示してもらいたい。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
72	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P13、添付書類4 (評価単位)	評価単位の設定・運用 評価単位は10ton以下とし、運用では収納重量上限の目安を1.6tonとする。実際の測定では、1.6ton以下なので、評価単位は1.6ton以下とすることでよいのではないのか。なお、1.6ton以上10ton以下の重量で、測定できる適切な装置を開発する見込みはあるのか。 評価単位ごとの重量は、放射能濃度の均一性及び測定される放射能濃度を考慮して、適切との説明が必要ではないか。	No.2で回答	今回回答
73	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P3	放射能濃度確認対象物は、必要に応じて物理的な除染方法(ブラスト除染等)により除染を実施する。 →どう、「必要に応じて除染を実施する」かが曖昧。有意な汚染が検出された場合には、除染を試みるのではないか。NRではないので、完全な除去まで要求するものではない。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
74	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P4	「燃料集合体及び炉内の構造材の微量元素として存在するウランが炉心中性子で照射されて、生成した核分裂生成物及び中性子捕獲生成物で、系統水中に放出されたもの(F P核種)」 → 同中性子捕獲生成物F P核種ではないのでは? U238(n, γ)U239→β壊変→Pu239	2023年11月14日以降回答予定	未回答

浜岡原子力発電所1,2号炉 クリアランス認可申請 指摘事項に対する回答整理表

ハッチング：回答済

No.	審査会合 ヒアリング	実施日	該当ページ	コメント内容	回答内容	回答状況
75	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P5	一次冷却水が炉心中性子で放射化されて生成する放射性物質（CP核種→水中のH-3 H-2 (n、 γ) H-3のことか。（→U235の核分裂と比較して、生成量はごく微量）H-3はCP核種とは言わないのでは？→表14） 放射能濃度の評価方法（評価対象核種の選択）との整合？何か記載が抜けている？ 炉水中のCo-60の発生メカニズムは、燃料表面に付着したコバルトが放射化（Co-59 (n、 γ) Co-60) して、炉水中に溶出するのでは。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
76	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P5	上記以外の調査として、放射性物質が、原子炉水から主蒸気に移行する割合を確認するために、代表サンプルのC-14の放射化学分析を実施した。 → C-14/Co-60では、評価する意味がよくわからない。主蒸気へのCo-60、I-131等のキャリアオーバー率は、起動試験で、データ取得しているはずなので、それらと整合しているか。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
77	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P11	「更に本申請における放射能濃度確認対象物から、代表サンプルを選定し、、、」 →代表サンプル選定の妥当性の説明が必要。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
78	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P12 添付書類5	放射能濃度の決定を行う方法に関する説明書 「D/Cの大きい順に選択し、浜岡1号炉では第2位のC-14及び第3位のCs-137、浜岡2号炉では第2のCs-137及び第3位のC-14 を評価対象核種に加え」 →D/C上位の入っているC-14（主にN-14 (n、p) C-14）は、主に炉心構造材から発生するものと推定されるが、定期点検時における主な線源は、Co-60以外では、Mn-54、Fe-59等なので、これらの寄与は小さいとする根拠を説明していただきたい。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
79	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	本文 P16	放射線測定装置の種類 「Cs-137及びC-14の放射能濃度は、Co-60の測定結果及び核種組成比を基に算出するため、Ge半導体検出器を使用しない。」 →Cs-137は、Ge半導体検出器（MCA）では、Co-60と同様に測定可能なので、定点測定的にGe半導体検出器で確認測定を行う必要があるのではないか。	2023年11月14日以降回答予定	未回答
80	ヒアリング (核燃料施設 等監視部門)	2023年11月1日	添付書類P3-1	「また、Co-60の放射能濃度は、「（本文）表-6」に示す通り、浜岡1号炉S/Cベント管で5.1E-04Bq/g」 → 同ベント管で、Co-60が低レベルながら検出された理由はどのように説明するのか。 （運転中にRCICのサーベランス時の戻り蒸気の影響？放射化の影響？） 汚染の発生形態によっては、ホットスポットの可能性があるのでないか。	2023年11月14日以降回答予定	未回答